

# 平成 23 年度「緊急津波避難訓練」について

## 1 趣旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災では、岩手県、宮城県等の沿岸において、大津波により甚大な人的被害が発生した。

牧之原市においても、東海地震の発生に伴う大きな被害が想定されており、日頃から住民や関係機関が津波の脅威を十分認識するとともに、津波に対する備えを強化し、いざという時に迅速に避難できるようにしておくことが重要である。

このため、本年度においては、強い地震動による被害の直後に津波被害が想定される東海地震の特性を踏まえたうえで、例年 7 月上旬に実施されている津波避難訓練を 5 月下旬に前倒しし、突発的な地震発生時の住民避難行動に焦点を当てた実践的な訓練を通して、避難経路、避難場所、避難施設などを緊急的に検証するとともに、見直し等を行う。

## 2 実施日時

平成 23 年 5 月 21 日（土） <統一実施日> 10 時 00 分 ~ 12 時 00 分

## 3 実施機関

牧之原市、静岡県、消防本部、自主防災組織等

## 4 実動訓練

### (1) 実施項目及び実施内容

実施項目	実施内容
1 避難経路・避難場所等の確認	1 住宅の耐震性・家具固定の検証
	2 避難経路、避難場所の検証
	3 避難に要する時間の検証
	4 移動可能範囲内（海とは逆方向）にある 3 階建て以上の高層ビル、急傾斜地避難階段、高台など有無の確認
	5 津波到達時間と避難に要する時間の比較による避難場所の検証
	6 指定避難場所への避難が間に合わない場合の緊急的な対応の検討（急傾斜地避難階段の活用など）
	7 避難経路上にあるブロック塀など地震により障害物となりうる構造物の再点検
2 水門・避難経路上の構造物等の点検	1 指定避難場所以外の民間高層建築物を避難場所を選択した場合の構造物の健全性・耐震性・避難時立入要領の確認
	2 水門・陸閘など安全かつ迅速・確実に閉鎖するための再点検・常時閉操作の再点検
	3 避難経路上にある橋梁など公共構造物の安全性・耐震性の再点検
	4 津波浸水域の境界付近にある避難所の安全性の検証 公共構造物などへの避難時立入要領の確認
	5 公共施設が津波危険予想地域の外にあるか検証

### (2) 訓練計画

- ・ 10:00 訓練地震発生（訓練開始）
- ・ 12:00 訓練終了